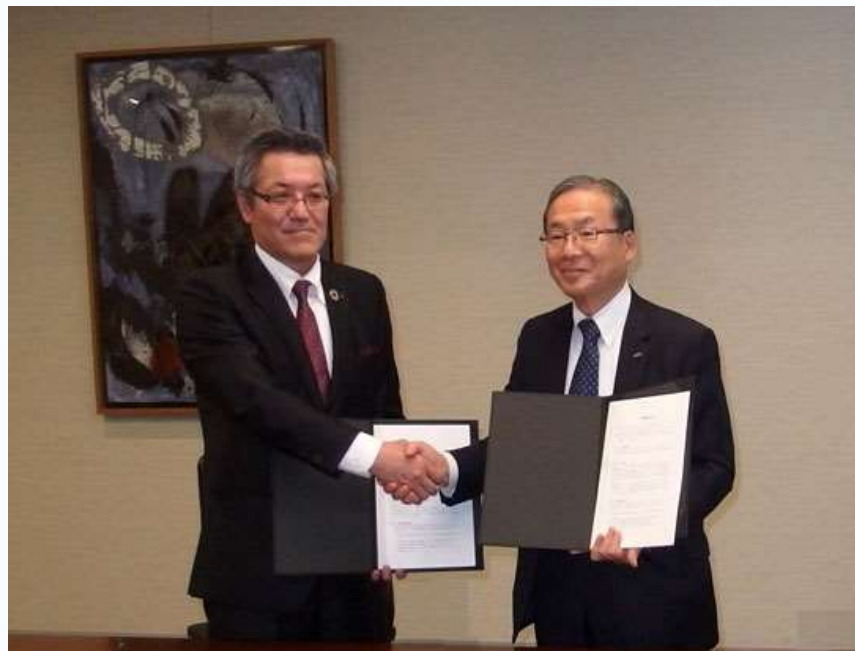



1. 事業譲受の経緯

川崎重工業は1969年に原子力事業を開始して以来、約半世紀に亘り商用原子力発電所や廃炉・廃棄物処理、新型炉の国家プロジェクトに参画し、多数の開発・納入実績を有していました。

「エネルギー・環境ソリューション」を中核事業として水素エネルギー関連事業に経営資源を集中したい川崎重工業の経営方針と、エンジニアリング部門の強化を目指すアトックスの経営方針とが合致、2021年3月26日に原子力事業の「事業譲渡契約」の締結に至りました。



調印式(2021年3月26日)


株式会社アトックス

2021年3月26日
株式会社アトックス

原子力事業の事業譲受に関する契約締結について(お知らせ)

アトックスは、川崎重工業株式会社(以下、川崎重工)と、昨年11/24に締結した事業譲受に関する基本合意(覚書)に沿って、誠実に協議を進め、本日、川崎重工の原子力事業を譲受する正式契約を締結するに至りました。

当社は、原子力関連施設のメンテナンスを早期から手掛け、放射線管理、放射性廃棄物処理とともに機器の点検・保守並びに工事業務、除染等、幅広く事業を展開してきました。今後は、川崎重工から同士の原子力事業を譲受し、さらに高品質な原子力事業分野でのエンジニアリング業務を展開することで、お客様のご要望にお応えしてまいります。

今後の予定

事業譲受基本合意(覚書)	2020年11月24日
事業譲受契約締結日	2021年3月26日
事業譲渡日	2021年4月1日
川崎重工からの技術支援終了日	2023年3月31日

事業譲受先の概要(2021年3月1日現在)

商号	川崎重工業株式会社
本社所在地	東京都港区海岸1丁目14-5
代表者の役職・氏名	代表取締役社長執行役員 橋本 康彦
事業内容	船舶、鉄道車両、航空機、モーターサイクル、エネルギー・環境プラント、油圧機器、ロボットなどの製造・販売
資本金	104,484百万円(2020年3月31日現在)
設立年月日	1966年10月15日

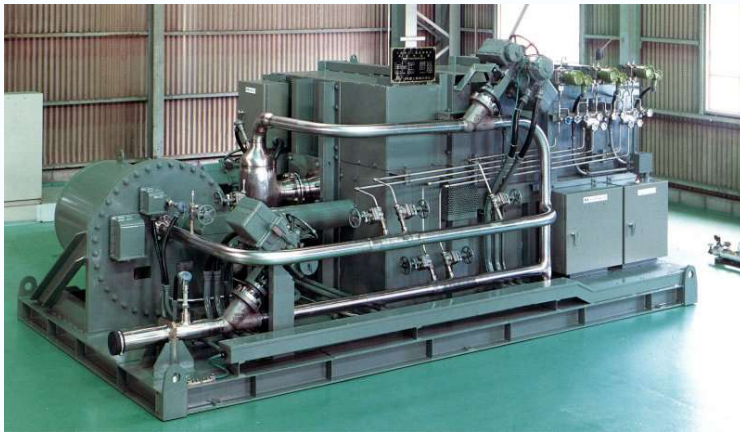
「事業継承契約」締結時のプレス文

2. ESCA(エンジニアリングサービスセンター)の新設

アトックスでは、大型案件のプロジェクト、設工認を伴う設計等を担う組織として、ESCA(エンジニアリングサービスセンター)を2020年9月に新設しました。

ESCAは川崎重工業の既存事業を引き継ぐとともに、同社が培った原子力事業の経験とノウハウをベースにEPC事業(E:設計 Engineering、P:調達 Procurement、C: 建設Construction)を推進しています。

これはアトックスの最大の強みであるO&M事業(O:運転 Operation、M:保守Maintenance)に加え、原子力事業分野で一段高い高品質なエンジニアリング業務を展開することで、今まで以上にお客様のご要望にお応えできる企業へのステップアップを目指すものです。



可燃性ガス濃度制御系再結合装置(FCS)



非常用ディーゼル発電設備



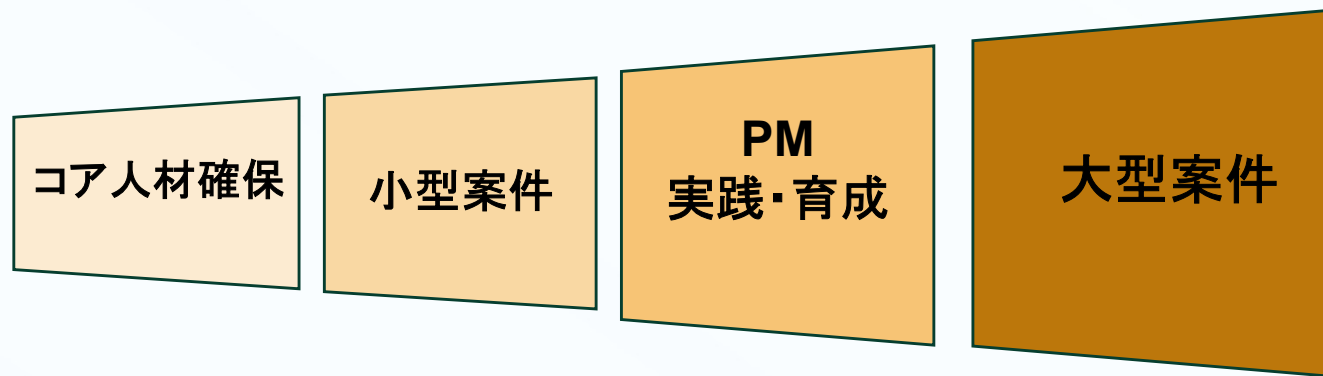
非常用空冷式熱交換器(AFC)

譲受された事業例

3. 川崎重工業のプラントビジネスを継承

川崎重工業のプラントビジネスを継承するには、見積から検収までの契約を遂行するプラントエンジニアのスキルが必要です。そのため「事業譲渡契約」締結後、川崎重工業より指導員がESCA(エンジニアリングサービスセンター)に出向し、事業継承に向けた技術支援・指導を受けました。一方、アトックスからは社員が川崎重工業神戸工場に出向し、直接の指導を受けました。

川崎重工業が推進中のエンジニアリング案件を経験することで、設計業務(Engineering)、QCD(Q:Quality,C:Cost,D:Delivery)、BOQ(Bill of Quantity)、方針策定(Scope)、リスク管理(Risk)に精通したPM(プロジェクトマネージャー)の育成を行ってきました。

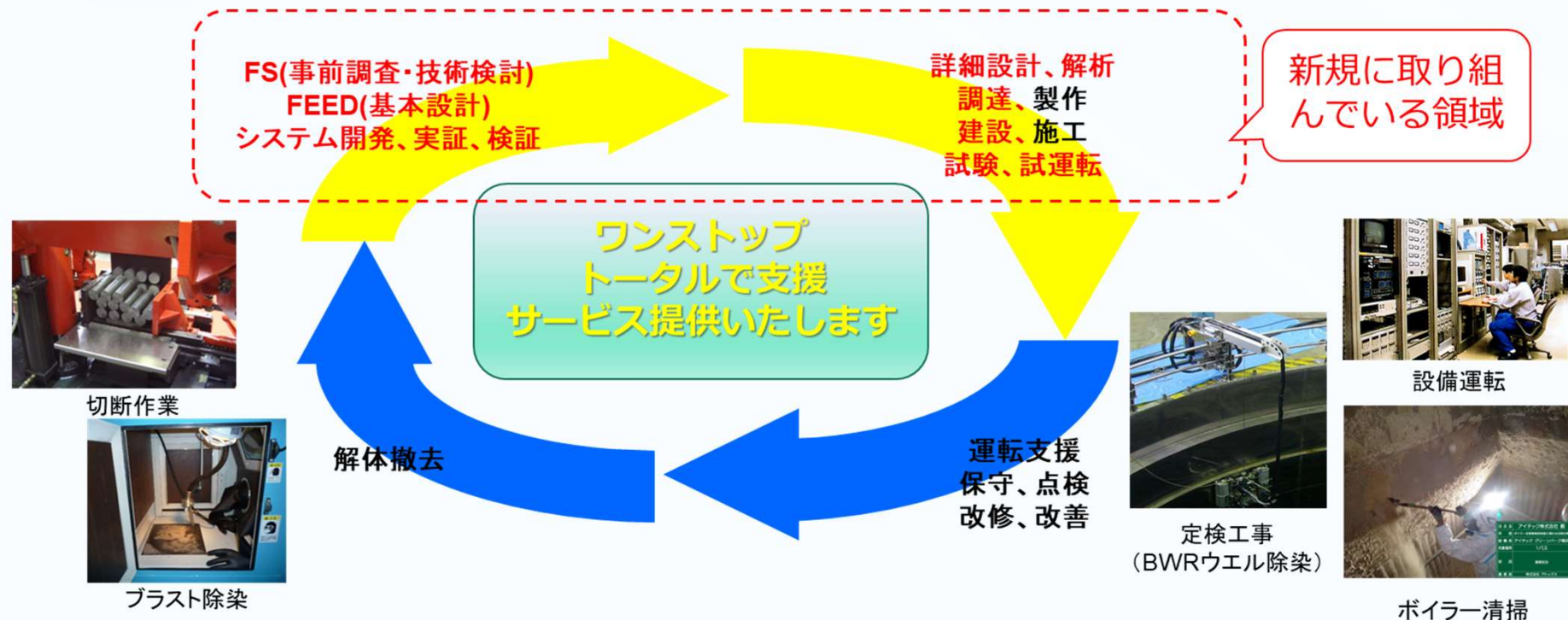


EPC事業推進のプロセス

4. 技術力強化と新たな展開

アトックスは、ESCA(エンジニアリングサービスセンター)の創設と川崎重工業の原子力事業の継承により新たなステージに入りました。

今後更に「技術力強化」を図るべくESCAの体制強化と人材育成を進め、川崎重工業の半世紀以上の歴史と高い技術やノウハウをもとに、現場における一段高い業務の受注・完遂を強力にサポートすることで、原子力産業の発展に貢献してまいります。



5. 事業拡大に向けた展開

川崎重工業から事業継承された技術力・品質基準・ノウハウをもとに、既存施設の保守・更新・新設に対応するのみならず、原子力施設に提供するEPCサービスを強化しております。また、作業改善のための機器開発についても、さらなる高度化に向けた開発を進めております。

従来

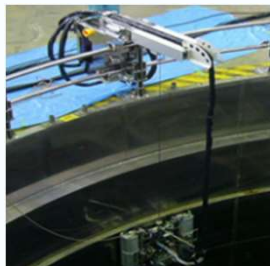
作業改善用の機器導入
(作業用機材・仮設設備)



高所遠隔除染装置



切断装置



壁面除染装置

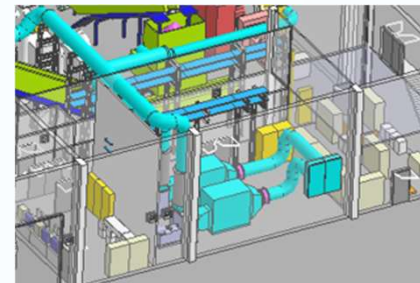


粉碎装置



新展開

エンジニアリング分野へ拡大
(本設機器・プラント施設・設工認対応)



設備設計



建設工事



各種分析装置設計、設置
(写真提供 東北大学殿)